

学級力アンケート見直し会

～マンダラチャートで学級力UP大作戦～

伊丹市立鴻池小学校

後藤 義揮

◎メリット

- ・児童が自分のクラスをどのように評価しているのか（クラスのいいところや課題）がわかる。
- ・数値が見えることで前回と比較ができる。
- ・教師からの意見ではなく、自分たちが出した意見をもとにふりかえることができる。
- ・個人の回答からその子の特性がわかる。

学級力の一年間の変化							
	項目	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
目標をやりとげる力	達成	83	→ 80	↑ 86			
	未達成	74	→ 77	↓ 66			
目標する力	達成	73	→ 71	↑ 80			
	未達成	91	→ 94	→ 94			
話を聴く力	新しき	77	→ 80	↓ 72			
	古き	73	→ 77	→ 73			
友だちを交える力	変えたい	89	↓ 79	→ 82			
	変えたくない	69	→ 65	↑ 71			
意欲を生む力	平等	80	→ 80	↓ 73			
	得意	60	→ 59	↓ 52			
きまりを守る力	守る	41	↑ 47	↑ 52			
	守らない	59	↑ 70	→ 75			

◎デメリット

- ・評価の基準に個人差がある。

→ 個人差を埋める必要はない。

- ・他のクラスと比較してしまう。

→ 以下のことをより伝える。

「クラス同士で競い合っているものではない。」

「自分たちのクラスをよりよくするために行なっているもの」

マンダラチャート

マンダラチャートは、9×9マスのマス目からなる思考・発想のためのフレームワーク

- ・ビジネスにおける思考法
- ・人生を豊かにするための発想法

要素を漏れなく洗い出し、整理し、行動を具体化することができるというメリット

特に目標達成のためのツールとして利用されることで有名

体のケア	サプリメントを飲む	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールを叩く	リストの強化
柔軟性	体作り	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気 に流されない	メンタル	ドラ1 8球回	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチ ボール	ピッチング を増やす
感性	愛される人間性	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウント ボールを 増やす	フォーク 完成	スライダー のキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を 大切に使う	運	審判さん への態度	遅く落差の あるカーブ	変化球	左打者への 決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと 同じフォームで 投げる	ストライクから ボールに投げる コントロール	奥行きを イメージ

◎見直し会◎

①よかったところ・課題を

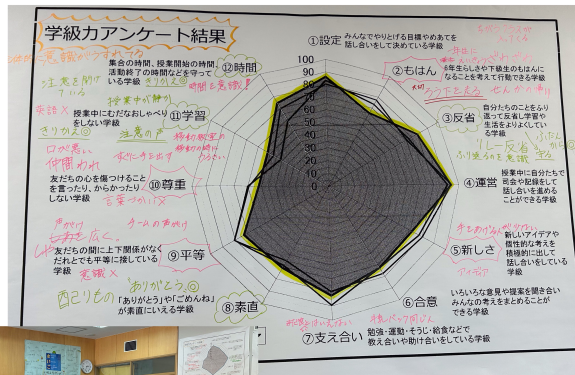
全員あげる（同じでも自分の言葉で）

②特に重点的に取り組みたい項目を決め

マンダラの真ん中に設定する

→ その項目をより良くするために

必要な要素を話し合う



あたりまえの
ことを守る

ろう下を
走らない
静かに
移動
行儀
着席
教室を暴れない

人のふり見て
わがふり直せ

メリハリ
きりかえ

だれにでも
感謝

第3回の課題!!

②もはん

6年生らしさや下級生

言う前に考える

暴言・言葉づかい

特に重点的に取り組みたい項目を
決める

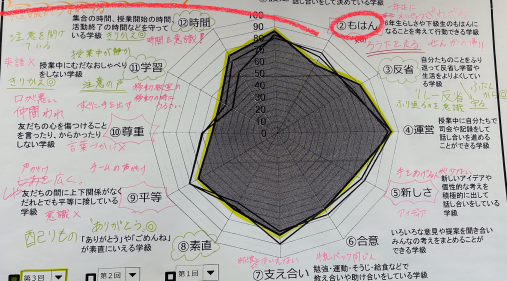
すなおに
あやまる

れいせい

仲良い友達でも
注意する

下級生の
お手本になる

学級力アンケート結果



その項目をより良くするために
必要な要素を話し合い、決める

あたりまえの
ことを守る

ろうフを
走らない
静かに
移動
タイム
着席
教室を暴れない

人のふり見て
わがふり直せ

メリハリ
きりかえ

だれにでも
感謝

第3回の課題!!

②もはん

6年生らしさや、下級生
のもはんに なることを
考えて行動できる
学級

言う前に考える

暴言・言葉づかい
に注意

すなおに
あやまる

れいせい

仲良い友達でも
注意する

下級生の
お手本になる

まとめ

- ◎ふりかえり（見直し会）も児童たち主体で行うことで
自分ごととして考えやすく捉えやすい。
- ◎マンダラチャートを使うことで、見やすく可視化できる
- ◎目に入るところに掲示することで、意識することができる。
- ◎学級指導の際、学級力アンケートで話し合った結果を
指導の基盤として話すことができる。

